

一橋大学佐野書院室内楽シリーズ (2020)全3回

一橋大学佐野書院にて、2015年からスタートした『ベートーヴェン室内楽シリーズ』はお陰さまで15回の公演を終了。2020年から、ベートーヴェンほか様々な作曲家を新たなコンセプトで取り上げ、わが国の第一線で活躍する実力派アーティストをお招きしてお届けいたします。

休日の午後、定員90名の“コンサート・サロン”佐野書院でゆっくりとお楽しみ下さい。

瀬崎明日香
ヴァッハ

無伴奏ヴァイオリン・リサイタル



9月27日(日)

第1回公演 午前11時開演

第2回公演 午後2時30分開演

ヴァイオリン 瀬崎 明日香

曲目
ヴァッハ

パルティータ 第3番 ハ長調 BWV1006
ソナタ 第3番 八長調 BWV1005
パルティータ 第2番 二短調 BWV1004

ベートーヴェン

チェロとピアノのための全作品演奏会(II)

17世紀のクレモナの名器と、ベートーヴェンがこよなく愛したフォルテ・ピアノによる



10月25日(日)

第1回公演 午前11時開演

第2回公演 午後2時30分開演

チェロ 花崎 薫
フォルテピアノ 渡邊 順生

曲目

チェロとピアノの為のソナタ第4番ハ長調 Op.102-1 (1815年)
チェロとピアノの為のソナタ第5番ニ長調 Op.102-2 (1815年)
モーツァルトの《魔笛》の主題による7つの変奏曲 Wo046 (1801年)
チェロとピアノの為のソナタ第3番イ長調 Op.69 (1807年)

使用楽器

チェロ：ジョヴァンニ パティスタ ルジェーリ(クレモナ 1686)
ピアノ：ナネット・シュトライヒャー(ウィーン 1818)

吉野直子の

ハープでめぐる音の旅



12月13日(日)

第1回公演 午前11時開演

第2回公演 午後2時30分開演

ハープ 吉野 直子

曲目

W. A. モーツァルト
「ピアノ・ソナタ 第15番 八長調 K.545」
吉松隆「ライラ小景」
F. リスト(H. ルニエ編)「愛の夢」
N. ロータ「サラバンドとトッカータ」ほか

会場 一橋大学佐野書院 (JR国立駅南口徒歩10分・会場は裏面の略図参照)

時間 各回とも開場は 第1回公演 10:30 第2回公演 14:00

チケット [全席自由] 1回券 各4,000円 (残券僅少)

3回セット券 10,000円 (終了)

チケットご購入の際に第1回・第2回公演のいずれかをあらかじめお選びください

● チケットのお申込み ●

I. 公式ホームページからのお申込み <http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>

II. FAXまたは電話でのお申込み

FAX **042-481-2510** (このチラシの裏面をご利用下さい) TEL **090-8495-4582** (「如水コンサート企画」事務局)

III. 国立市内販売店 「白十字」南口店 (☎ 042-572-0416)

如水コンサート企画

検索



FAX申込書 → 042-481-2510 一橋大学佐野書院室内楽シリーズ (2020)

お名前*	TEL	FAX
ご住所	〒	
E-mail		
お申込み内容	1回券 (各4,000円)	3回セット券 (10,000円)
	<input type="checkbox"/> 9月27日(日) _____ 枚 (第1回公演・第2回公演)	— 終 — 子
	<input type="checkbox"/> 10月25日(日) _____ 枚 (第1回公演・第2回公演)	
	<input type="checkbox"/> 12月13日(日) _____ 枚 (第1回公演・第2回公演)	
<input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。		

Profile

9/27 瀬崎明日香 バッハ／無伴奏ヴァイオリン・リサイタル

■瀬崎 明日香 Asuka Sezaki (ヴァイオリン)

東京藝大附属高校を経て同大学を首席卒業。パリ国立高等音楽院大学院修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として、R. パスキエ、J.J. カントロフ、C. イヴァルディの各氏のもとで研鑽を積む。第64回日本音楽コンクール第1位及びレウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞受賞。千葉市功労賞受賞。トリエステ国際室内楽コンクール最高位、フォーバルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール第1位。2005年帰国後、日米欧各地でコンサートを行うほか、読響、都響、東響、日フィル、新日本フィル、札幌、仙台フィル、大阪フィル、N響室内合奏団、ミュンヘン放送響等と共演。また、トッパンホールが実力派アーティストを招聘する「エスポワール・シリーズ」の3回に亘る公演は絶賛を博す。CDは、イザイ「無伴奏ソナタ全曲」(『レコ芸』特選盤)、「サン＝サーンス作品集」、「シュトラウス&フランク・ヴァイオリンソナタ」。現在ローマのフェリックス・アーヨ氏のもとで研鑽を積んでいる。

10/25 ベートーヴェン／チェロとピアノのための全作品演奏会(II)

■花崎 薫 Kaoru Hanazaki (チェロ)

東京藝大在学中、ドイツ学術交流会給費留学生としてベルリン芸大留学。藝大在学中に安宅賞。1981年、日本音楽コンクール・チェロ部門第3位。'86年、文化庁在外研修員としてドイツ、カールスルーエ音大に留学。長年、新日本フィルの首席チェロ奏者として活躍。現在、愛知県立芸大教授、名古屋音大客員教授、東京藝大、武蔵野音大各非常勤講師。エルデーディ弦楽四重奏団主宰。

■渡邊 順生 Yoshio Watanabe (フォルテ・ピアノ)

一橋大学社会学部卒。卒業後直ちにアムステルダム音楽院に留学、巨匠レオンハルトに師事。首席卒業と特別賞「プリ・デクセランス」受賞。チェンバロ・フォルテピアノ奏者兼指揮者としてわが国の古楽演奏界の啓蒙に努める傍ら論文執筆や楽譜校訂も手掛ける。録音では2度の「レコード・アカデミー賞」のほか、優れたバッハ演奏に対し2010年度サントリー音楽賞、モンテヴェルディのオペラ「ポッペの戴冠」に対し2018年度三菱UFJ信託音楽賞。上野学園大客員教授、東京音大・桐朋学園大各講師。

12/13 吉野直子のハープでめぐる音の旅

■吉野 直子 Naoko Yoshino (ハープ)

世界のハープ界で最も注目されている逸材。ロンドンで生まれ、6歳よりロサンゼルスでスーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学ぶ。第9回イスラエル国際ハープ・コンクールにて17歳で最年少優勝。以後、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス等トップ・オケおよび小澤征爾、アーノンクール、ブルーゼ、アバドほか世界的指揮者との共演、G. クレーメル、W. シュルツ、E. パユ等との室内楽、ザルツブルク、ルツェルンほか主要音楽祭への参加など華やかに活躍。CD録音も多数。最新録音は『ハープ・リサイタル1～4』(自主レーベル grazioso)。1985年アリオン賞、'87年村松賞、'88年芸術祭賞、'89年モービル音楽賞奨励賞、'91年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞を受賞している。国際基督教大学卒業。

